

北京五輪での奮闘を糧に

金沢学院3選手が報告会

ロンドン五輪への決意も



北京五輪に出場した三選手の奮闘をねぎらう飛田理事長「4号館講堂」

八月の北京オリンピックに出場した金沢学院所属の新谷義人(法人職員、ウエイトリフティング男子69^キ級)、齋藤里香(東高校教員、同女子69^キ級)、中川真依(大学3年水泳女子高飛び込み)の三選手は九月十七日、同大学で開かれた報告会に臨み、教職員百六十人を前に、五輪での奮闘と今後の抱負を語りました。飛田秀一理事長が「石川県の一つの大学から三人ものオリンピック選手を出したことを誇り思っている」と三選手の奮闘をたたえました。同級10位だった新谷

選手は「自分の力を出し切ったが、もう一度あの舞台に立ってリベンジしたい」、また8位入賞を果たした齋藤選手は「大舞台で日本記録を更新できたことは大きな収穫。こ



新谷義人選手



齋藤里香選手



中川真依選手

富山が舞台の現代小説 文学部公開講座で解説

金沢学院大学文学部の公開講座「富山の現代文学、その魅力をさぐる」



富山が舞台となった現代小説について解説する教員「富山県高岡文化ホール」

は九月七日、富山県高岡文化ホールで開かれ、約二十人が聴講しました。山下久夫、秋山稔、田邊正彰教授、部際子准教授、寺田智美講師の日本文学科五教員が、昨秋に同科編として発行した『ほくろく文学紀行』で取り上げた富山が舞台の小説について、取材の工ピソード、作者と富山のかかわり、作品の読みどころと訴えるものなどについて解説しました。出席者は身近な場所が出てくる小説の魅力に触れ、さつそく『ほくろく文学紀行』を買い求める姿も見られました。



27日に公開講座

金沢学院大学経営情報学部の公開講座「企業とコンピュータ」は九月二十七日午後一時から北國新聞会館内の金沢学院サテライト教室で開かれます。基調講演の講師は西村あさひ法律事務所

表明しました。石田学長は「良きアスリートとして後輩のけん引車になってほしい」と激励しました。

生涯スポーツ探そう
金沢学院大学基礎教育機構の土曜大学「生涯スポーツを探そう」は九月六日、第一体育館で親子夫婦連れなどが参加して開かれました。参加者は平井敦夫スポーツビジネス学科長からソフトテニス、バドミントンなどのルールや楽しみ方の指導を受け、ゲームを楽しみました。ソフトテニスでは楽しそうにボールを追う親子ペアの姿が見られました。写真左。

西日本大会で完全制覇

男子バド部員、学長に報告

8月26日から9月2日まで福岡県で開かれた第48回西日本学生バドミントン選手権に出場した金沢学院大学チームは男子団体で初優勝し、個人でもシングルスで吉田昇選手(3年)、ダブルスも伊東克範(3年)・山田和也(3年)が制して完全制覇を果たしました。



石田学長に西日本大会での初優勝を報告するバドミントン部員＝学長室

金沢学院大学経営情報学部の公開講座「企業とコンピュータ」は九月二十七日午後一時から北國新聞会館内の金沢学院サテライト教室で開かれます。基調講演の講師は西村あさひ法律事務所